

こんどう 近藤さえ子の小枝通信

一本の小枝がつなぐお母さんの声

一本の小枝で結ぶ地域の世代

一本の小枝が渡す地域と区政

No.30 2017年8月発行



中野区議会は、議員任期後半2年になり、委員会構成も変わりました。私は、総務委員会と中野駅周辺・西武新宿線沿線まちづくり調査特別委員会に所属しました。

現在、中野区議会は自民党13人、公明党9人、共産党6人、民進党5人、都民ファーストの会中野区議団3人（都議会議員選挙前に結成）、無所属5人の構成です。議長や各委員会長等のポストは大きな会派順に割り当てられています。

私は4期目、ベテラン議員と言われる立場ですが、無所属のため役職や付属機関への割り当てはありません。それ自体は特に構わないのですが、「オリンピックに間に合うように」体育館整備を急ぐがために多くの税金が使われ、一方で子どもたちの居場所の児童館が無くなってしまう等、納得出来ない区の施策に対して反対の声が届かないことに悔しい思いもしています。

それでも、「私は近藤さんと同じ意見よ」と支えてくださる多くの皆さんとの声に励まれ、任期後半も、区民の立場で、生活者の目線で、何のしがらみもない無所属の立場で全力を尽くしていく所存です。どうぞよろしくお願ひいたします。

猛暑が予想される暑い季節、皆様どうぞご自愛ください。



いま中野区は！

桃丘小学校跡施設問題

区は「若い世代の表現活動者や団体が育つ場とする」として、平成22年桃丘小学校跡施設を学校法人タイケン学園に5年間の約束で貸し出しました。しかし、当学園は契約終了後も施設の使用を主張、さらに基本協定及び賃貸借契約に係る複数の違反行為も判明、区は昨年、施設明け渡し及び損害賠償を求める訴えを東京地方裁判所に提起しました。

今年4月和解、タイケン学園は6月退去ましたが、「なぜ、このような業者を選んだのか」「違反行為をチェックできなかったのか」「区の契約の問題点」等多くの問題が浮き彫りになりました。区民の反対を押して行われた事業で「若い世代の表現活動者や団体」は育ったのでしょうか。この事案で弁護士費用に7,560万円もの税金が使われました。計画性も管理能力もない民間への貸し出し事業は、区民に大きな不安を与え、血税を投入して終わりました。

区役所・サンプラザ地区再整備事業

- 区は新庁舎を現在の中野体育館の場所に建てる計画です（平成31～33年実地設計・建設工事、施設整備費約221億円）。
- 区役所の位置を定めるにあたり地方自治法の規定により、特別議決（議員の2/3の賛成が必要）が行われ、採択されました。
- 移転後の区役所とサンプラザ地区は、事業協力者[代表 野村不動産(株)、他、清水建設(株)、住友商事(株)、東急不動産(株)、ヒューリック(株)]により「次世代のビジネス環境の創造」、「民間運営による1万人規模のアリーナ」等が提案されています。
- 区役所建設事業費は、区役所サンプラザ地区を資源に捻出できると区は言いますが、中野区の一等地である区民の財産を新庁舎の建設費用だけに使うことの懸念について、私は建設委員会で質問しました。またこの地区の整備計画について区民の意見が反映されることを要望しました。



私の議会報告

近藤さえ子は第1回定例会で以下の質問をしました。（抜粋）

平成29年第1回定例会

一般質問 2月22日

元臨時職員による事件への対応について

区の臨時職員が勤務中に住民情報システムに接続して個人情報を盗み見し、一人暮らしの女性の部屋に繰り返し侵入したとして逮捕され、かつ、区個人情報保護条例違反で再逮捕された。性的犯罪を繰り返していた可能性もあると言う。

区は、管理監督の徹底、職員教育の再徹底等を示したが、悪意を持った人間がその気になれば犯罪は繰り返される。

中野区は被害者支援に取り組んでいる全国的にも先進的な自治体であることを採用時に伝え、犯罪は絶対に許さない区民の総意を示すべきではないか。

【区長答弁】

法令や条例に基づいて、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務すべきことをしっかりと説明していく。



予算特別委員会 総括質疑 3月2日

哲学堂公園文化財の修復について

【近藤】 哲学堂公園は、多くの区民の安らぎの場である。今回、観光の拠点となることで、区民の利便性が悪くなることがないように要望する。

【高橋都市基盤部副参事(道路・公園管理担当)】

観光の拠点また文化財としての価値を高め、憩い安らぎの機能も保持していく。

U18プラザと児童館廃止後の子どもたちの居場所について

【近藤】 統合新校の美鳩小学校の学童クラブは、3年後も同数の申請児童があれば、ほぼ半分しか入れない。私はもっと多く受け入れ用意があり、民設民営の学童クラブは、公設に入れない受け皿的な場所と認識していたが、どのような考え方なのか。また、若宮地域の子育て広場事業はどうするのか。

【石濱北部すこやか福祉センター副参事(地域子ども施設調整担当)】

美鳩小学校内にキッズプラザと学童クラブ、若宮地域に民設民営の学童クラブ誘致予定。公設、民設いずれかの学童クラブを保護者が選択すると考えている。若宮地域においても、現在場所等を検討している。



平成29年第2回定例会

一般質問 6月5日

犯罪被害者等相談支援窓口の充実について

中野区の相談窓口は、全国的に高い評価を受け、「中野区の取り組みを教えて頂きたい」と内閣府、他の自治体、支援センター等から講演依頼を受けるまでに成長した誇れる事業である。しかし、今年4月これまで犯罪被害者支援対応に関わってきた4人の職員(副参事、係長、担当職員、非常勤職員)が全て異動になり、これまで積み重ねてきた被害者支援の知識や技術が継続できなくなる可能性があるが、「被害者支援はもうこの程度でいいや」と言う雰囲気があるのではないか。

【区長答弁】

区として犯罪被害者支援は必要と考えている。社会状況の変化やニーズを踏まえ今後も必要な支援を行っていく。

6月15日「第42号中野区立児童館条例の一部を改正する条例」の反対討論

「第42号中野区立児童館条例の一部を改正する条例」に反対する立場で討論を行います。
この条例の改正はU18プラザ上高田及びU18プラザ中央を廃止するものです。



児童館は児童福祉法第40条に定められた「児童に健全な遊びを与え、健康を増進し、情緒を豊かにする」ことを目標に作られた施設であり、子どもたちを支える地域の人たちと児童の交流拠点として愛され、中野区の誇るべき施設として展開されてきました。

しかし、2005年、区が「児童館の機能転換」を発表し、小学生の居場所を学校内のキッズ・プラザ、9館の児童館を中高生までの居場所U18プラザとすることを決定しました。そもそも児童のために作られた施設を中高生対応にするにはかなり無理があり、職員は多大な苦労をし、地域住民や高校生も加わり、10年以上かけて移行事業が進められました。

しかし今回、昨年1月の10か年計画(第3次)素案から改定素案まで、わずか3か月の間に、区はU18プラザの廃止を決めました。

★反対理由第1：子どもたちの育成にとってかけがえのない場所である。

児童館やU18プラザでは、職員の一人一人が乳幼児から小中高生、保護者、地域の大人と親しく付き合ってきました。職員は何でも話せる兄貴・姉貴であり、不登校になっても児童館に顔を出す児童もいます。職員には、複雑な家庭の悩み、虐待の疑い、子どもたちが抱えている問題が良く見えるのです。この機能は子どもの健全育成にとって何より大切なものです。無くしてはいけません。

★反対理由第2：U18プラザは地域の拠点である。

歴史あるイベントU18プラザ中央のサマースティもできなくなり、地域との繋がりがなくなってしまうのではないかと危惧します。中野区に生まれ育ち、これから地域を担う大人に成長していく子どもたちから「地域」を奪うことになるのです。

U18プラザ上高田には遠方から乳幼児を連れた母親たちが来ます。この親たちが、自分の子育て時を支えてくれたことに感謝し、次のPTAや地区委員会のメンバーになり地域を盛り上げ、地域に恩返しをしていく循環、この子育て環境を奪ってしまえば、「地域で子育て」は消滅してしまうます。

★反対理由第3：区民の財産である区の施設を壊さないで欲しい。

U18プラザ上高田(1989年築)もU18プラザ中央(1991年築)も、まだまだ使える施設です。

区民が必要とする施設を簡単に壊さないでいただきたい。区の施設は、幹部職員や区長の所有物ではないのです。大切な区民の財産なのです。どうか今一度、子どもたちがのびのび過ごせる地域の拠点が、子どもたちの成長過程においてどんなに大切なものであるかお考えいただき、U18プラザ上高田、U18プラザ中央の廃止を思いとどまっています。3か月での計画の変更は、余りにも計画性のない、無責任な子育て施策と非難されてもしかたないものです。

児童館およびU18プラザの廃止により、これまで中野区が誇りにしてきた「地域で子育て」が消滅てしまえば、元気な子育て世代は中野区から出て行ってしまいます。残されるのは高齢者世帯、どんなにイベントを繰り広げても参加できない区民だけになってしまいます。

同僚議員の皆様、ぜひご賛同いただきますようにお願いいたします。

(この条例は、自民・公明・都民ファーストの会中野区議団等の賛成
多数で可決され、また、中野区の子どもたちが自由に集まる居場所がなくなることになりました。)



<http://saekonikki.exblog.jp/>

日々の活動をお知らせしています。

3月14日 建設委員会

私は「家政銀座商店街通りの道路舗装工事について」の項で質問しました。

現在、家政商店街通りの道路舗装に使われているインターロッキングブロック舗装は損傷がひどく危険なので、別の舗装の選択を求めてきましたが、区は、今回も同じ舗装計画で工事をスタートしました。しかし、工期が合わず、「型枠式カラーライフ舗装」に変更する報告がありました。コストは1.4倍高くなりますが、結果的に安全性や耐久性は高まりました。

いつも現場を見ている住人の声が大事であることを改めて感じました。



5月4日 母の葬儀

4月28日93歳で亡くなった母の通夜でした。母は、大好きだった花に囲まれ、多くの友人や知人に見送られ、祭壇で微笑んでいました。

地域の方、古くからの友人たちとその子どもたち、商店街の方、介護施設の方、介護事業者の方等おおぜいの弔問客が訪れ、生前、母がどれだけ多くの方々と会話を重ね、生活を楽しみ生きてきたかを見る思いでした。

皆様本当にありがとうございました。



こえだ

小枝ネット(ホームページ) <http://www.koeda-net.com/>

* * * * *

近藤さえ子プロフィール

近藤正二(中野区議11期)の次女 北原小十一中・吉祥女子高・和光大学卒 中野区議会議員(4期) 趣味:テニス

* * * * *

近藤さえ子の小枝通信

発行:中野市民の会 編集:近藤さえ子事務所

TEL & FAX 03-3330-9584

E-mail saekokondo@mbh.nifty.com

* * * * *